

リンクストーン用 メンテナンスコート

| | | | | |
|----|---------------------------------|---|-----|---|
| 警告 | 引火性の液体 有害な物質を含有 有機溶剤中毒の恐れ |  | 有害性 |  |
| | | | | |

溶剤含有イソシアネート基末端ウレタン樹脂
 危険物 第4類 第1石油類非水溶性液体 危険物等級Ⅱ
 労働安全衛生法・表示対象成分/酢酸エチル、すず及びその化合物、
 シンチアテトメチル-3,5,4-トリメチルシクロヘキシルニソシアネート
 国連番号 1866
 応急処置指針 指針番号 128

危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気。
- 吸入すると有毒。
- 皮膚刺激。
- 重篤な眼の損傷。
- 吸入するとアレルギー、喘息、または呼吸困難を起こすおそれ。
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 呼吸器への刺激のおそれ。
- 尿気および眩暈のおそれ。
- 長期または反復暴露による肺の障害。

注意事項
【予防策】

- 使用前に施工要領書と必要に応じてMSDSを入手し、全ての安全注意を読んで理解するまでは取り扱わない。
- 火気厳禁。あらゆる着火源から遠ざける。
- 防爆型の機器や装置、ならびに火花を発生しない工具を使用する。
- 容器は密栓し、接地やアースをとって静電気放電を防止する。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、ミスト、蒸気を吸入しない。
- 指定された個人用保護具(保護袋、保護眼鏡、保護手袋、呼吸用保護具など)や換気装置を使用し、曝露を吸引させる。
- 取り扱いは手洗いやうがい、洗顔などを十分行う。

【対応】

- 火災の場合には粉末、泡、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを使用する。
- 飲み込んだ場合は無理に吐かせず、水洗後すぐに医師の診断を受ける。
- 吸引した場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合は水で数分間洗い、直ちに医師の手当てを受ける。
(コンタクト装着時は可能であれば外して洗眼する。)
- 皮膚や髪に付着した場合は流水と石鹸でよく洗い、直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込みんだり曝露の懸念がある場合や気分が悪い時は、直ちに医師の手当てを受ける。

【保管】

- 容器は密閉し、着火源の無い換気の良い冷暗所に施設して保管する。

【廃棄】

- 内容物や容器の処理は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託し、他の用途に使用しないで適正に廃棄する。

施工手順

施工の前に

- 指定されている材料以外は使用しないでください。
- 夏期、材料は高温多湿や直射日光を避けて、風通しの良い冷暗所に保管してください。(材料温度が高くなると、可使用時間が極端に短くなることがあります。)
- 冬期、材料は室内等の気温の高い所で保管してください。
- 水やシンナーとの接触は樹脂の発泡や硬化不良の原因となりますので、一切混入しないように注意してください。
- 樹脂が付着すると取り除く事ができませんので、周囲は必ず養生してください。
- 30～40分以内で作業を終了させてください。
- 施工にあたっては次のものを用意してください。
 - ウールローラー、ローラーバット
 - シンナー(作業後の道具洗浄用)
 - 各種保護具、養生テープなど

下地について

- 下地の「リンクストーン」は完全に乾燥させてください。湿っていると膨れ(発泡)や割がれの原因となります。
- 下地表面のホコリやゴミ、土、レイタンス、油分などは完全に除去してください。
- 下地の不陸(凸凹)や欠損部、クラックなどの不良下地は、あらかじめ「リンクストーン」などで平滑に補修してください。不陸などがある場合、膨れ(発泡)などを生じる場合がありますので注意してください。

メンテナンスコートの塗布

- 水やシンナーなどを加えると発泡や硬化不良の原因となる為、「メンテナンスコート」は薄めずに原液のまま使用してください。
- 塗りすぎは発泡の原因となる為、樹脂ダマリができないよう少量ずつ均一に塗布してください。
- 塗布後硬化するまでは足裏に「メンテナンスコート」が付着して周辺を汚してしまうことがある為、周辺部は必ず養生してください。
- 塗布後硬化するまでは、雨などの水に当てたりゴミなどが付いたりしないようにしてください。


【既設「リンクストーン」のメンテナンスの場合】

- ①「メンテナンスコート」をウールローラー、または剛毛で均一に塗布します。
- ※塗布量は下地の状況により異なりますが、300g/m²前後を目安としてください。

【既設「リンクストーン」に滑り止め機能を付ける場合】

- 別途、「つや消し&滑り止めキット」のご準備をお願いします。
- ①「メンテナンスコート」をウールローラー、または剛毛で均一に塗布します。
- ※塗布量は下地の状況により異なりますが、200g/m²前後を目安としてください。
- ②その後、直ちに「つや消し&滑り止めキット」を使って、施工面にムラができないように少しずつ均一に散布してください。
- ※「メンテナンスコート」が硬化する前に作業を終了させてください。

施工上の注意

- 屋外施工では天候に十分注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 施工後24時間は立ち入り禁止とし、硬化しきらないうちに雨水などにあたらないようにしてください。必要に応じ、シートなどで養生してください。(但し、冬期など気温が低い場合は48時間以上かかることがありますので注意してください。)
- 冬期、気温5℃以下の施工は避けてください。
- 一度開封した材料は速やかに使いきってください。長期保存はできません。開封したままにしておく、固まってしまうことがありますのでご注意ください。
- 樹脂が硬化するまで少々臭気します。室内での施工の場合は特に換気に注意してください。